

第15回 京都府少年野球連絡会旗争奪大会

京都府少年野球連絡会

特別規則と注意事項

- ベンチには、メンバー表記載選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出来ない。
今年度から参加申込書(単独チーム・連合チーム用)を申込時に提出いただきます。
連合で参加されるチームは、単独で(3年～6年)チーム編成出来るチーム同士での連合の参加は認めません。
単独で8名以下のチーム同士、単独で出来るチームと出来ないチームの連合は認めます。
- 監督・コーチは選手と同一意匠の帽子・ユニホームの着用を義務づける。
《監督は30・コーチは28・29の背番号をつけていること。》
- 試合当日、監督・コーチが何らかの理由で変更になる場合は、メンバー表の監督の欄に代理と記入し本部に提出すること。
- 試合回数は6回もしくは試合時間とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。《但し決勝戦は決着がつくまで特別ルールにて行う。》
【特別ルールは、無死1塁・2塁で、前のイニングの継続打順とする。】
- 試合時間は、1時間20分とする。《決勝戦も準じる》
- 3回15点・4回10点・5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《決勝戦も準じる》
- 投手の投球数制限は1日70球とする。
- 球審は、各行政に割振りして行い、塁審のみ各チームより出していただきます。
《準決勝戦・決勝戦は球審・塁審とも各行政に割振りにて対応する。》
- 球審及び塁審の服装は紺色又は黒色の長袖シャツ・ズボンを着用し、靴も黒色の物を履くこと。
- 試合開始時間前に前の試合が早く終了した場合でも、次の試合は開始予定時間20分前より早く開始はしません。
- 試合開始時間になっても球場に来ないチームは棄権とする。
- 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
- 暗雲降雨により試合を中断・中止した場合で、4回を終了していれば試合成立として終了する。
但し、それ以外の場合は、ノーゲームとし後日再試合とする。
- グラウンドルールは、各会場のルールにのっとり行う。(試合前に確認の事)
- タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
- 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。
《但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ》
- どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
- 17.の内容が悪質な場合は、審判の判断でグラウンド外(退場処分)へ出てもらう。
- 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
- 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
- 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し避難する。
- 大会使用球はダイワマルエスJ号球を使用します。(本部にて用意します)
- その他競技規則は、2024年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。